

平成19年度 補正予算



老朽化により、2年間も使用されていなかった特別教室棟（2階の図書室）

コミュニティバスの 路線延長など

一般会計 1億3580万円を追加

一般会計

（全員賛成で可決）

本補正予算は、JRバス廃止に伴う代替バスの路線延長に係る補助金、剣南小学校特別教室棟の改修に係る実施設計委託料および衛生センター、町営住宅などの修繕料、また、個人町民税の調定額が確定したことなどを盛り込んだ内容となっています。

これらの財源として、現時点で確定している地方特例交付金、地方交付税、繰越金、町債などを充て、歳入歳出それぞれ1億3580万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ62億1848万円としました。

9月定例会は、9月12日から27日までの16日間の会期で開催されました。

町長より提出された一般会計補正予算をはじめ、安全安心まちづくり条例、町営住宅の家賃滞納者に対する民事調停の申立てなど、21の議案を審査しました。

補正の主なもの

歳入（収入）	
地方交付税追加	9,789万円
前年度繰越金追加	4,982万円
個人町民税減額	△1,321万円
財政調整基金繰入金減額	△627万円
特別会計繰入金追加	559万円
歳出（支出）	
し尿処理費追加	956万円
農業総務費追加	496万円
住宅管理費追加	494万円
児童措置費減額	△448万円
総合福祉センター施設費追加	404万円

その他の予算

○国民健康保険事業特別会計

（全員賛成で可決）

○かんがい施設維持管理運営特別会計

（全員賛成で可決）

○流域関連公共下水道事業特別会計

（全員賛成で可決）